

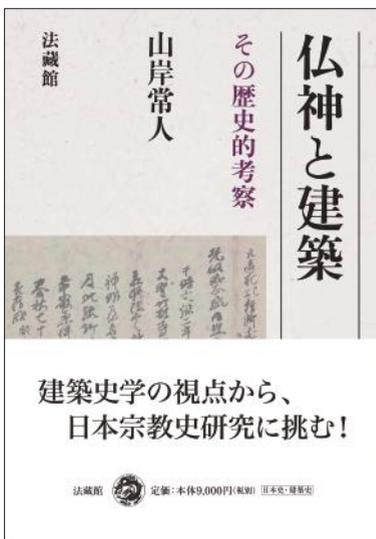
仏神と建築

日本史・建築史

やまぎし つねと

山岸常人著

▼A5判・上製カバー・430頁・定価九、九〇〇円



寺院・神社の建物を歴史史料として捉える視点から、仏神の歴史について考察した論考を集成。建築史の視点から日本宗教史研究に迫る。

2021年12月刊行

【目次】

序論

第一部 法会と建築

- 第一章 奈良時代の法会と寺院建築
- 第二章 頭密仏教の展開と寺院建築
- 第三章 寺院における規範
——東大寺二月堂と修二会をめぐる——
- 補論1 オーバーアマガウの受難劇
- 第四章 造営における先規意識
- 補論2 「建立」の実態をめぐって
- 第五章 壇所の基礎的考察

第二部 中世・近世の寺院の院家

- 第一章 慈円の住房
- 第二章 近世安楽寿院の院家と年預

第三部 神社建築の形成

- 第一章 神社建築史研究の課題
- 第二章 神社建築の形成過程
——平安時代前期・中期を中心に——
- 第三章 初期神社建築の一形式
——三ヶ所遺跡の掘立柱建物遺構の解釈——
- 第四章 中世杵築大社本殿造営の実態と背景

第四部 宗教建築史の課題と構想

- 第一章 建築史学の視点から日本宗教史研究に挑む
- 補論 中世建築と律衆覚書
- 第二章 建築史から中世を考える

図版一覽
初出一覽
あとがき
索引

◆著者略歴

昭和二十七年生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。文化庁・奈良国立文化財研究所・神戸芸術工科大学・京都大学を経て、現在、京都大学名誉教授・京都府立大学文学部特任教授、工学博士。
著書：『中世寺院社会と仏堂』（塙書房、平成二年）、『中世寺院の僧団・法会・文書』（東京大学出版会、平成六年）、『塔と仏堂の旅』（朝日新聞社、平成七年）、『日本建築の歴史の評価とその保存』（勉誠出版、令和二年）、『古建築調査ハンドブック』（勉誠出版、共著、令和三年）、『丹波市の歴史的建造物』I・II・III（丹波市、共著、平成二七年・三〇年・令和二年）、『西仙寺本堂建造物調査報告書』（西仙寺、共著、令和三年）ほか、歴史的建造物調査報告書多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
山岸常人著	法藏館
定価九、九〇〇円	住所
お名前	お電話
お名前	

山岸常人著
——その歴史的考察——
ISBN: 978-4-8318-6267-9 C3021

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp